



調査結果を多面的に分析し、 児童生徒を見取る視点を豊かにしましょう！

©岡山県「ももっち」

全国及び県学力・学習状況調査の結果を踏まえ、各校の学力向上担当者や研究主任の方が中心となって、自校の結果の把握・分析を組織的に進めているところだと思います。今号では、**調査結果を多面的に分析し、授業で分析を生かす**例を紹介いたします。各校の実態に応じて、誰一人取り残さず、全ての児童生徒の「学ぶ力」を育成する取組の参考にしてください。

分析の例：子どもの誤答について話し合う

【R6小学校算数3（3）】

直径22cmの球の形をしたボールがあります。このボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べます。この立方体の形をした紙の箱の体積が何cm³かを求める式を書きましょう。



子どもの誤答はどのようなものが考えられますか。

学力向上

22×22ですかね。他にもありますか。

A先生

「解答類型反応率」を見ると、①11×11×11 ②22×22 ③3.14を用いた式の3種類が多いですね。子どもはなぜ3.14を使うと考えたのでしょうか。

学力向上

5年生の3学期に円周について学習したので、球を見て3.14を連想したのでは？

B先生

無回答だった子どもはどこに引っかかったのでしょうか。

学力向上

球がイメージできず、ボールと箱に隙間があるようにも見えるので、「ぴったり入る」ということが理解できなかったのでは？

B先生

子どもたちの考えを**教科の視点や特別支援的な視点で多面的に分析**することは、授業づくりに生かせそうですね。研究授業にもこの分析を生かしてみましょ。

研究主任

2学期以降の取組例：研究授業

- ・教師の働き掛けと子どもの様子を**一体的に見取る**。
- ・事前に決めた**授業参観の視点を中心に**見取る。

研究授業実施前

研究授業中

研究授業実施後

今度の5年生の研究授業における主発問に対して、子どもからどのような考えが出てきそうですか。**誤答分析を生かして**、学年団で事前に協議し、**授業参観の視点を決めておきましょう。**

研究主任

正答は〜〜〜だけど、間違えとして―――という考えも出てきそうですね。

A先生

どうしてそう思われるんですか。

B先生

4年生の時に学習した……と結び付けてしまうのではないかと思いました。

A先生

なるほど。私は、**言葉だけでは主発問の意味を理解しにくい子どもがいるのではないかと**思いました。

B先生

子どもたちの反応はどうでしたか。

研究主任

〇〇さんが4年生の時の学習に引っ張られて間違った答えを書いていたけど、先生が**□□さんの考えを取り上げたことで間違えに気付いていました。**

A先生

授業者の先生が、主発問をした後に、子どもたちの様子を見て、前時で使った**図を示していました。それがヒントとなり、△△さんは考えを書けていました。**

B先生

誤答分析を研究授業と連動させていくと、先生たちの**子どもを見取る視点が豊か**になりますね。

管理職